新年度施政方針要旨

地域開発を積極的に

三月定例市議会の第一日目の十六日、吉沢市長は「国の建設公債政策の採用に伴う、公共事業の増加による自己財源の持ち出しとか、職員給与改定の平年度化による人件費の増大など、きわめて苦しい財政事情のもとで、できるかぎり健全性を確保するように編成した」と前おきし、「地域開発の第一の急務は、経済発展の基盤であり、生活向上のもとである道路橋りょうなど交通網の整備充実である」と強調。次のように施政方針と、新年度予算の大綱を説明しました。

苦しい財政事情
財源のすべてを計上

第五十一回定例市議会の開会に際して、四十一年度予算そのほかの重要案件の審議を求めるにあたり、施政の基本的な考え方を明らかにいたしたいと存じます。

財政運営については、過去の財政再建の経過をふりかえって、健全化を第一の目標として歳入の確保につとめ、市税、交付税、起債など主要財源を確保。あわせて歳出の効率的執行に努力してきました。

ところが昨年は、わが国経済が戦後最高といわれるほど深刻な不況に遭遇し、景気の停滞、税収の減少が国の財政に重大な影響を及ぼし、地方財政も必然的にそのあおりをうけ、国の財政と同様に危機にさらされるに至りました。

そのため政府は、それぞれの措置を構ぜられたのでありますが、なお充分とはいえない面が多く、年間を通じて、きわめて苦しい財政運営に終始せざるを得なかったのであります。それに関連して、四十年度会計の決算見込みをみますと、一般会計は、財源の見通しが不確実のために留保してきた分の今回の補正額二千四十九万円を加えた累計額は、実に六億五千五百十三万円といういままでにない大型予算となったのですが、黒字決算はきわめて困難な状態です。こんごは年度末の予算執行を厳に規制して、何とか黒字団体としての決算の結了をはかるよう努力しているところです。

また、高校会計は歳入総額千三十九万円に対して、歳出は千三百九十六万円で、差引き三百五十七万円の歳入不足が見込まれます。その主因はいうまでもなく建設寄付金の未納であるので、関係者の理解と協力をえて歳入の確保につとめていきたいと思います。

つぎに、農災会計においても、歳入見込み額七千九十九万円に対し、人件費の増大や施越事業による借入金利子の補給などによる支出見込み額七千二百九十八万、差引き百九十九万円の歳入欠陥を見込まなければならない状態です

四十一年度の財政計画はこのような苦しい四十年度会計のあとをうけ、更に国における建設公債政策の採用に伴う公共事業の増加による自己財源の持ち出しの増とか、職員給与改定の平年度化による人件費の増大など、きわめて困難な情勢のもとで編成した次第ですが、その編成にあたっての基本方針は、いうまでもなく、できるかぎりその健全性を確保することであります。

そこでまず、才入財源の算定にあたっては、できるかぎり不確定要素を排除することにつとめながらも、主要財源を充足するため、現在の時点で見込みうる財源は、徹底的にこれを捕そくするようにつとめたつもりです。

ちなみに申し上げるならば市税は現行税制を基本として自主財源確保のために課税客体の完全捕そくにつとめるとともに、見込まれる財源をすべて見込むこととしました。

更に、収納成積向上のため納税貯蓄組合と、納税組織の育成をはかる所存です。

次に地方交付税ですが、国は地方財政の円滑な運営をはかるために、四十一年度は四十年度より四・七%増額計上しているので、予算額は一千万円六・六%増の一億六千万円を計上しました。

地方債、国庫支出金の予算化については、災害関連費を除いた前年度実績を基調として、過大見積りの防止につとめ、住民税の減税に伴う減収補てん対策として、四十一年度限り交付される臨時地方特別交付金が措置されていますが、まだ配分方式などその内容で明確をかいているむきもあるので、現時点では予算化を見送った次第です。

以上、主として才入財源の見積りについて、基本的な考え方を申し上げたのですが、結論的にいうならば、捕そくすべき財源はすべてこれを捕そくし、そしてそのすべてを計上しつくしたということです。

なお、財政運営の健全性を確立するには、財源の適正かつ重点的な配分とその効率的執行にまつところが多大ですが、この指向する具体的方向については、以下申しのべる事業計画の大綱により承知いただきたい。

写真は施政方針をのべる吉沢市長

道路事業に重点的配分
組合立で火葬場設置を計画

すべての市民が希望に満ちた明るい生活を営むことができる、豊かな地域社会をつくり出すことが、私のかねてからの念願です。九町村合併以来十一年にして、新市建設計画も急速な進ちょくをみせつつあります。とくに最近は名実ともに新産都市白根ブロックの中核として巨歩を進めつつあることは、市民各位とともに同慶にたえないところです。

地域開発の第一の急務は、経済発展の基盤であり、生活文化向上のもとである道路橋りょうなど交通網の整備充実であると存じます。

本市は三十九年六月、突如おそった新潟地震によって、市・県道橋ともことごとく大きな被害をうけたのですが、幸いにして松橋、高井、萱場の市道三橋はすでにしゅん工をみ、また大郷、根岸、白根庄瀬の県道四橋は、着々復旧工事が進行中で、庄瀬橋の十月しゅん工を除いては、それぞれ四月中旬しゅん工の見通しをみるにいたったことはよろこばしい限りです。

また、多年の懸案であった臼井橋のかけ替え工事も第二年次の四十一年度は三千数百万円の予算措置が内定、月潟橋についても、千八百万円の内定をみているので、こんごは工事ができる限り短期間に完了するよう促進方につとめたいと存じます。

土木関係には最も重点的な予算配分をはかったのですがとくに優先的にとり上げたものは、四十年度より開始した基本道路＝ろっ骨道路整備計画にもとづいて、新村～新国道八号線連結道路の拡幅、新町通りの舗装、市街地排水路の整備、地盤沈下対策事業に伴う市道路面の整備、そのほか一般市道の改良、補修用材料購入費などを大幅に計上し、市道維持管理に万全を期すよう配慮しました。

地域開発の第二として、地城住民の生活向上に役立たせるため、前年来推進してきた清掃事業を更に充実させるために、物価や人件費の高騰などを考慮して、ゴミ収集委託費を現行より四百八十万円増額。また、し尿処理にしても処理施設の完成を期に、万全なる操業体勢をはかることとしました。

一般環境衛生対策についても、従来の三兼機四兼機に加えて、六台の四兼機を備えるとともに、地区衛生組織の助長育成のため環境衛生協会に対し、所要の財政援助を行うこととし、カやハエのいないきれいな町づくりの推進を考慮しました。

更に市営火葬場四カ所の老朽化対策と合せて、露天火葬場四十二カ所の整備統合をはかり市民生活の合理化に資するために、隣接の中ノ口、月潟、味方の三カ村の協力をえまして、新しい火葬場の建設を計画中です。とりあえず現行伝染病舎組合規約の一部改正案を提案、衛生処理組合の確立を配慮している次第です建設費その他の所要経費は、改めて審議願うつもりです。

保育施設を整備拡充
救急車も備える

地域開発の第三として、勤労者の方々が、働きやすい環境を整備することがきわめて重要であり、急務であると考えます。そこで、昨年開設しました母子健康センターの充実につとめるとともに、乳児保育所の開設に伴い、要員を配置するため、職員定数の確保をはかるとともに、運営に必要な財政措置を講じました

更に、最近の保育所入所難を解消するため、古川保育所の増築を計画するとともに、根岸地区に新たに児童館の建設を計画しました。

なお、保育施設を整備拡充する方針のもとに、乳児保育所の隣接地に新たに敷地を確保するため買収費を計上し、将来の普通保育所建設計画の前進をはかることとしました

第四は住宅です。住宅整備計画の促進が急務であるという観点から、終始その□要財源の確保に配意いたしたのですが、財源の関係上、市営住宅の建設計画が実現を見なかったことはきわめていかんであります。その代案として、関係機関との提携によって敷地造成、分譲住宅建設などの措置によりまして、住宅事情の緩和をはかりたいと考えています。

次に、老齢や病気や心身の障害に悩んでいる、いわば社会の谷間にある人々に対してあたたかい充実した援助の手をさしのべることとの重要性は産業の発展、社会の進歩とともにますます重要視されなければならないと存じます。ところでこの社会保障施策は、生活保護を中心とする法的扶助や医療保障の充実などに大きく期待しなければなりませんが、新年度は社会的に最も不幸な立場におかれている精神薄弱児の入所施設、いわゆるふなおか学園の開園をはかりまして、市内入所希望者十一名中すでに七名の入所を内定しています。今後とも入所適格者の入所促進を期していく所存です。

そのほか、老人世帯、母子世帯についても、関係諸団体と緊密な連絡をとりながら、その指導援助の充実を意図しており、また健全な児童福利対策の一環として、母親会の一層の昂揚をはかることとし、更に戦歿者、遺族対策の向上のため遺族会の補助増額を考慮しました。

なお、医療保障の充実を期すべく国保財政の健全化に充分意を用いて、療養諸費の増大に備えることとしたのですが、ただこれに要する財源として、保険税の増徴が余儀なくされたことは、独立採算が国保会計の原則といいながら年々にわたる負担の上昇は、まことに遺憾とするところです。今後とも一般地方財政対策とともに、国保財政の政府施策による健全化についても格別の努力を傾注する所存です。

なお、市民の生命財産の保護に重要な関連のある消防関係については、小型動力ポンプの増強を考慮し、あわせて学校その他公共施設附近の防火水槽を増設し、防火体勢の整備につとめ、更に交通事故に備えて救急車の購入をはかった次第です。

つぎに、すぐれた市民を育成する基礎は教育にあります祖国を愛し、地域を愛する心情を養い、時代の進運に必要な知識と技術を身につけ、民族の繁栄と、社会の発展に寄与しうる立派な青少年をつくり上げることこそ教育の目的でなければなりません。

近年、青少年の非行が増加していることは、もっとも憂慮にたえないところですが、学校教育、社会教育を通じて道徳倫理の向上につとめる決意であり、科学技術教育の振興とともに、勤労青少年教育の振興に対しては、特に意を用いる所存です。

そこで、一般文教施設の充実については、目下再検討中の小・中学校の整備統合計画の指向する方向との関連を考慮し、不用不急の財政支出を排除する方針のもとに、一般的所要財源を配分するとともに、とくに理科技術教育センターの充実に必要な経費を計上したほか、庄瀬中・臼井中学校については、それぞれ定時制高校教育との関連をも考慮して、特別教室の建設費を計上したほか、学校給食の完全実施をはかるために、その整備費を更に計上、また、給食実施に伴う所要人員を確保するよう配慮を加えた次第です。

経営者自らも近代化
合理化への意欲を……

最後に、農業、工業、商業の産業振興対策ですが、経済不況のしわ寄せを最もうけやすいのが農業並びに中小企業であることは、承知のとおりです。このしわ寄せを排除するためには、何よりもまず政府施策による不況の克服が第一であるので、関連施策の強力な展開を期待し、それを積極的に協力する考えです。

農・商・工ともその近代化のため、政府関係制度金融の大幅な活用とともに系統内資金の活用を推進させながら、市単独融資制度の充実をはかることとしました。あわせて経済情勢、地域産業をとりまく環境のはげしい変化に対応して、経営者および経営者等で組織する団体が、自らの力によって近代化合理化のために立ち上がる気運、とくに農協の場合は生産部門への積極的進出の気運をつくりあげるための指導教育を徹底することに、新年度の重点目標をおくことにしています。

農業行政に関しては、第一に震災復旧計画の推進はもとより、地盤沈下対策事業の第二次計画の促進、並びに農地の交換分合の推進をはじめとして、生産基盤の整備をはかり、第二に年々着実に伸長し三十九年度で総額三十四億八千二百万円に達する農産物の生産と流通の合理化を積極的におし進めて、生産の増大と所得の確保に最大の努力を払うこととし、第三に小農技術および家族労作経営の構造的な阻害要件の改善と、新しい経営者育成につとめることを基本方針とし、土地利用の再検討をはじめ経営構造の改善等各部門ごとに具体的な施策の展開をはかることが必要であると信じます。

次に商工関係については、地方産業育成資金予託金、小企業振興融資予託金の確保をはかるとともに、産業育成資金の貸付限度額を現行三十万円から五十万円に引上げ、いまで商工会に委託した工業部門の各種講習会を直営して効率の向上をはかるほか、たこ合戦行事についても、たこ合戦協会の協力のもとに市が直轄して、経費の効率化と運営内容の充実合理化に資する所存です。

市役所庁舎の新設を計画

そのほか、財政措置はしていないが、市役所新庁舎の建設位置の決定など庁舎建設計画の促進をはかりたいので地域発展の大計にてらし、格別の協力を得たいと存じます。

以上、四十一年度事業計画すなわち行政施策の基本方針を申し上げたわけですが、それにもとづく歳出予算の総額は歳入同様五億三千四百三十万円となった次第です。今さら申し上げるまでもなく、最少の行政費による最高の能率こそ、市民の最も期待しているところでありますので、新年度はとくに財政運営の健全化に留意しつつ、行政水準の向上に積極的に努力する決意をここに表明して、市民各位の協力をお願いするとともに全職員がひとしく公務員としての良識を堅持し、一層厳正な規律の保持と、行政能率の向上につとめて、市民に対する義務を果されるよう要望します。所信の一端をあわせて施政方針の説明とします。